

た かみ  
**田の神と**



しぜん かみさま  
自然の神様が  
おし 教えてくれた  
たいせつ みず  
大切な「水」の  
お話し はなし  
お話!!

やま かみ  
**山の神**

おんぼ  
田んぼの水はどこからくるの？



みどり  
水と里ネットやまがた

自然の神様が教えてくれた  
大切な「水」のお話!!

とうじょうじんぶつ  
登場人物



ピッキー



さなえちゃん



みのる君(お)

物語の主人公『さなえちゃん』は、『お父さん』『お母さん』、  
弟の『みのる君』と都会に住んでいる小学生。  
山形の田舎で暮らす大好きな『おじいちゃん』『おばあちゃん』の  
秋に収穫されるおいしい『新米』を毎年楽しみにしています。

たわわに実った稲穂の田んぼからは、  
お米の案内人『つや子さん』が飛び出してきた、  
お米ができるまでの苦労や、食糧の大切さなどを教えてくれます。  
『つや子さん』の案内で収穫祭に参加し、田んぼの神様に差し上げる  
『刈り上げもち』をお腹いっぱい食べたさなえちゃんは、うたた寝…  
その夢の中には、田んぼの神様や山の神様ができて  
さなえちゃんに、里で暮らす人々が何気なく使っている水の大切さ、  
水のつながりについて、森の動物たちと一緒に、自然の不思議や  
楽しさを交え教えてくれます。

さなえちゃんが体験したそんな不思議な夢…  
いったいどんなお話なのかのぞいてみよう!



おじいちゃん

おばあちゃん



お父さん



お母さん



つや子さん  
(お米の案内人)



山の神



田の神



森の動物たち

平成22年3月 発行

企画・発行 / **みどり**  
**水土里ネットやまがた**  
(山形県土地改良事業団体連合会)  
〒990-2473 山形市松米一丁目7-48  
TEL 023-647-5370  
<http://www.sanae.or.jp/>

制作 / **デザインスタジオ A+** (エープラス)  
ディレクション / 佐藤 こうじ  
デザイン / 大須 愛・富樫 社紀・本間 美幸  
〒990-2222 山形市青野1304-178  
TEL 023-625-2767



今年も  
たくさん  
お米がとれて  
良かったの〜!!

今日は  
農家のみなさんの  
公休日なんだ!!

春から秋まで  
田んぼを  
守ってくれた  
『田の神』に  
『刈り上げもち』を  
差し上げて  
感謝するのよ。

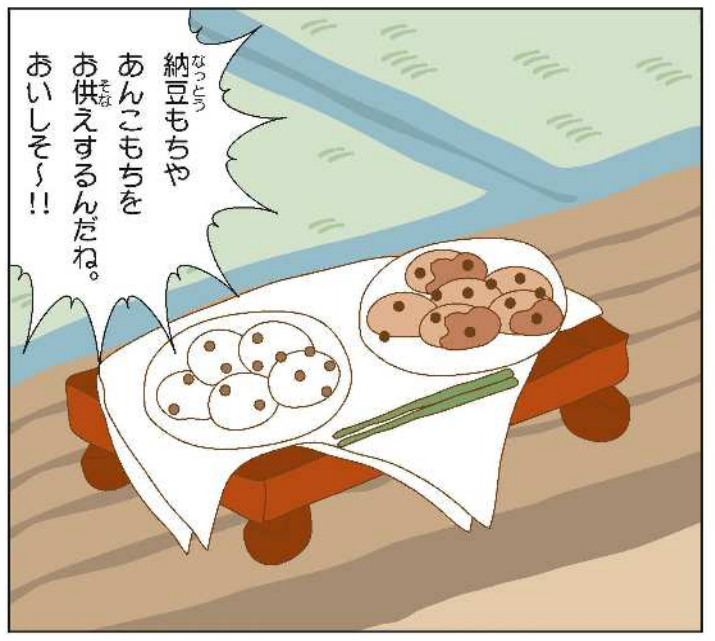
「田の神」  
ありがとうま〜!!

秋の収穫祭



田の神

『田の神』は  
春から秋まで  
ずっと田んぼを  
農家の人々を  
見守ってくれて  
いるんだよ。



納豆もちや  
あんこもちを  
お供えするんだね。  
あいそ〜!!



もちを食へすぎた  
さなえちゃん。  
気持ち良すぎた  
寝てるけど  
どんな夢を見てる  
のかな? ヲ口!!



おばあちゃんが  
作ってくれた  
おもちが  
格別だね!!

大雨だったり  
日照りが続いたり  
自然と一緒に大切に  
作ったんだから  
感謝していただく  
ないとね。

あげ道でみる君と  
遊んでいたさなえちゃん。  
突然、雲の切れ間から  
大きな葉っぱに乗った  
『田の神』が舞い降りて  
きました…

あの大きな  
葉っぱで  
乗りたいな!!

ようこそ田んぼへ!  
はるばる都会から来た  
君たちに、田んぼや  
里山の不思議を  
教えてやろうかの?

さあ、  
この葉っぱで  
乗りましたま。



わあ、  
すごいながめだね。  
まるで  
『田んぼの湖』  
みたい!!

すごい水の量じゃー!  
春にはこうして  
田んぼ一面に  
水をひくのじゃ。

とろろで、  
毎日食べている  
茶碗一杯の  
ご飯を作るのに  
この水が  
どれくらい必要か  
知ってるかの?!



そんなんじゃ!!

お茶碗一杯  
くらいなら  
ペットボトル(1ℓ)  
1本くらいで  
オッケーじゃ  
ないかな?

おいおい!!  
そんなもんじゃないぞ。  
なんとペットボトルだと  
約350本分も  
必要なんじゃ。

こんな大きな田んぼじゃ  
たくさん、たくさん  
水が必要だね。  
水ってすごく大切なんだね。





そのなぐてはならない  
水をひくために  
昔の人たちは  
田んぼを作ったり  
水路を掘ったり…



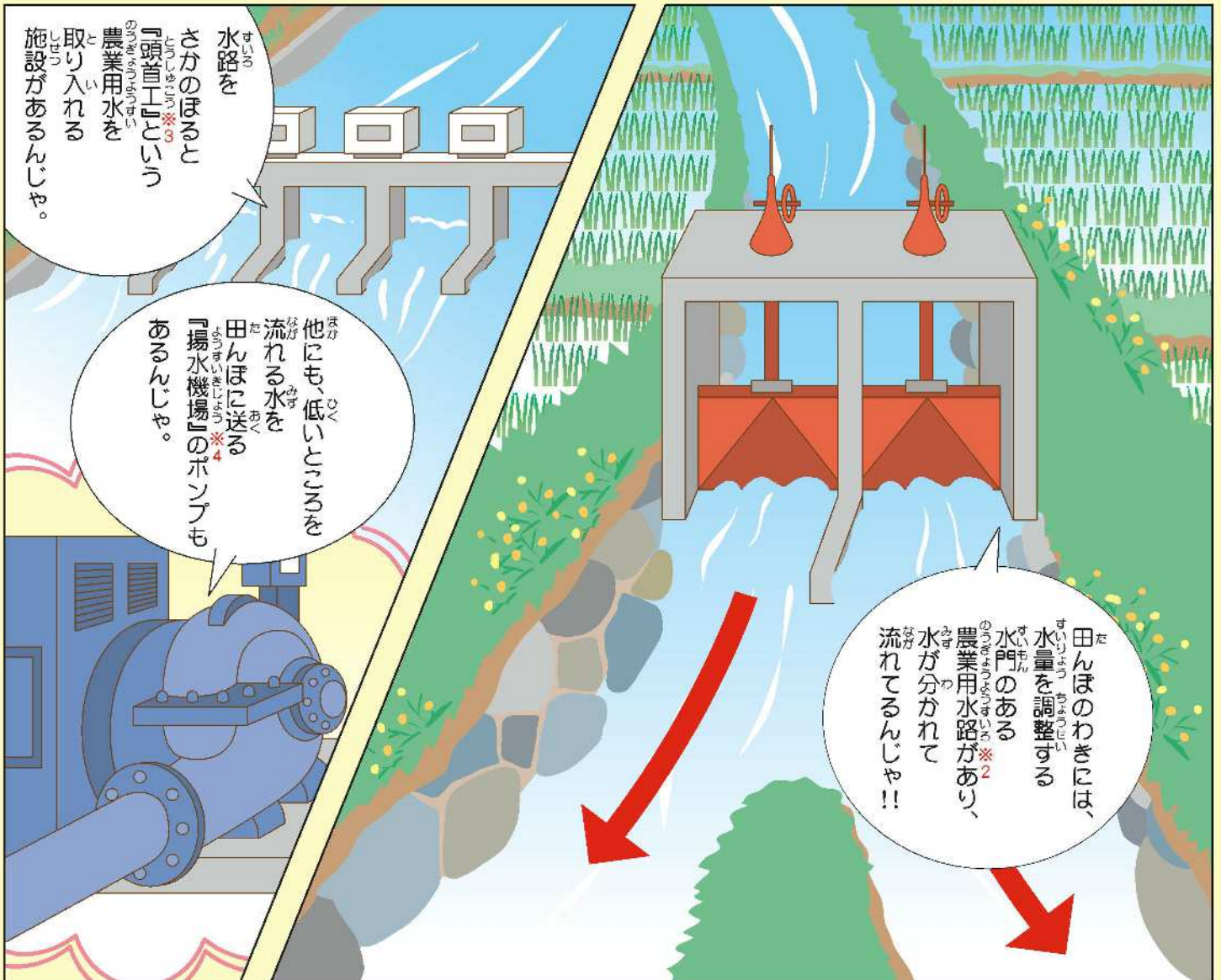
日照りが続く  
水の配分をめぐる  
命がけの争いが  
起きたりもした…

水不足の  
ところでは  
『ため池』を  
作ったりも  
したんじや。



でも、  
この水って  
いったい  
どこから  
流れて  
くるの？

それじや  
田んぼの水から  
さかのぼって  
水の出どころまで  
行ってみると  
するかの？



田んぼのわきには、  
水量を調整する  
水門のある  
農業用水路があり、  
水が分かれて  
流れてるんじや!!

他にも低いところまで  
流れる水を  
田んぼに送る  
『揚水機場』のポンプも  
あるんじや。

水路を  
さかのぼると  
『頭首工』という  
農業用水を  
取り入れる  
施設があるんじや。



流れている水の道にも種類があつて  
 「水路」は人の手によつて  
 作られたもので  
 「河川」は昔から流れている  
 自然のものです。

わあ〜!!  
 小さな水路から  
 大きな川まで  
 まるで長〜い  
 『水のへんさん』  
 みたいだね。

この川を  
 活しちゃうたら  
 おいしいお米が  
 育たないね。

どうじゃー!  
 全部つながつてるじゃろ!!  
 田んぼから河川までの  
 水路の長さははかるよ  
 全国で地球10周分(40万km)  
 にもなるんじゃよ。  
 すごいの〜!!



葉っぱに乗った  
 さなえちゃんたちは  
 川をさかのぼり  
 だんだん山へと  
 入つてきました。

山の中の川には  
 岩や草の恵みが  
 いっぱいで  
 魚くんたちも  
 元気に  
 泳いでいるよ。

すきとおつた  
 きれいな  
 水でしょ!!

これがエ〜!!  
 出陣だ!!

あんなに  
 大きかつた川も  
 もとはこんな  
 すき間から  
 流れてるんだね。

そしてこの山の中のぼり  
 岩のすき間から  
 チョロチョロと  
 流れ出る水源に到着。  
 ※山形県には、このような水源が  
 いるんだと聞いてあります。



切り株が  
ひとつ、ふたつ  
みつ…  
いっぱい  
じゃの〜

『山の神』は  
なんて、切り株の  
数なんか  
数えるのかな〜？

変身

秋になったら  
わしの役目は  
終わりじゃ。



春まで  
森を守るのが  
『山の神』である  
わしのこと。

山の神

『山の神』  
じゃった!!

わあ〜!!  
神様が  
かわちやったよ〜



ボクはいつも  
山の景色しか  
見てなかったな〜

そうじゃの〜  
里で喜ぶ人々が、  
あまり  
気に止めない森は、  
本当は喜ばしい  
ものなんじゃよ。



それはね!  
春に切られた  
木が何本あるか  
数えてるんだよ。



その分だけ  
また木を増やさないと  
森が死んじゃうからね。  
新しい芽が出るように  
ボクたちが、  
そうじしたりして  
育てるんだよ。





ところが…

森林の手入れをする人が少なくなってしまう…

わあ、こわそうな森!!

森林を管理するのは大変な手間ひまがかかるんじゃ!!

厚い木陰も光が入らず暗黒の森になっちゃうの…



森林の手入れをおこたると、木が枯れたり、木の成長が止まったり、生き物たちも困るし豊かな土壌が育まれないんじゃよ。

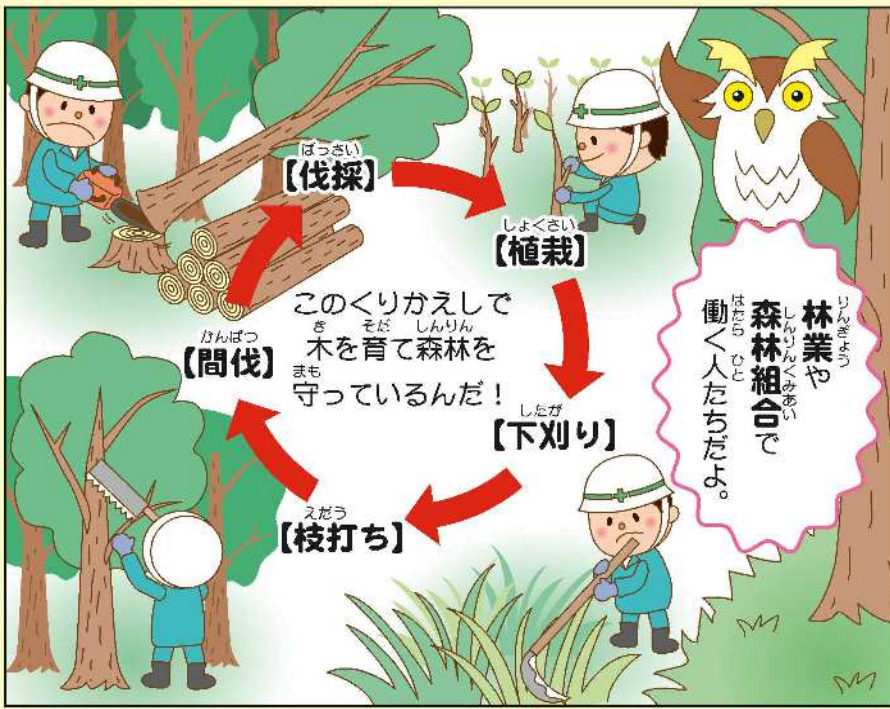
だから、下刈りや枝打ちなどの手入れが必要なんじゃ!

ボクたちのすみかもなくなってしまうよ!!



ヤブ状の森林で生きていけない動物たちは、人里にありてきて農作物を食べたり人間にやつあたりしたり…困ったもんじゃ!!

でも、動物くんたちのせいじゃないよね!!



季節は秋から冬へ...

きびしい冬も  
雪解け水を  
里にあくるため  
森はじっと  
がんばって  
いるんじや。



そして春に...

毎年、雪どけが進む  
四月中旬頃には  
鳥海山の山肌には  
腰を曲げた姿の  
「種まきじいさん」が  
あられ、農家の人々に  
田植えの時期がきた事を  
知らせてくれます。



昔から農家の人々は、  
自然の風景や四季の  
なげない風情から  
いろんなことを  
学んできたんじや。

田の神

変身〜!!

里では  
「水神祭り」が  
行われ、  
水に感謝し  
今年の豊作を  
お祈りします。  
「山の神」は  
「田の神」へと  
変身し、  
今度は田んぼを  
守ってくれます。



「種まきじいさん」も  
春がまちどおし  
かったんだろうね。  
なんだかうれしそう!



ヒヤ〜!!  
すきとおって  
きれいだけ  
冷た〜い!!



あじいちゃん  
おばあちゃん  
田植えの  
お手伝い  
したいよ〜

